

令和元年度 第1回能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の概要

- 日 時 令和元年6月27日(木) 午後1時55分～3時00分
- 場 所 能代市役所 新庁舎3階 会議室9・10
- 案 件

(1) 数値目標・重要業績評価指標(KPI)の状況等について

【主な意見と対応】

意見等	対応
力を入れなければいけないと考えている項目はあるか。	合計特殊出生率について、国は昨年1.43だったのが1.42に下がっている。秋田県も1.35から1.33に下がっている。傾向を見れば、能代だけ合計特殊出生率の数値が改善していることは考えにくい。要因について、様々な分析をしており、この検証と絡めて情報提供し、今後の検討に役立てていきたい。
平成30年の婚姻数が128件(速報値)で、ここ数年に比べてダウンしている。要因は何か。	未婚率の上昇のほかに、年齢が若くなるにつれて人口の数自体も減ってきている。そのため、結婚する分母が減ってきていることなども影響していると考えている。

(2) 地方創生関係交付金事業の効果検証について

市が平成30年度に実施した地方創生推進交付金事業及び地方創生拠点整備交付金事業について、事業の効果を経済会議として検証していただいた。

○地方創生推進交付金事業

出席委員の評価を集計した結果、「有効であった」が6名、「どちらかといえば有効であった」が6名であったことから、戦略会議の検証結果として「KPIの達成に向けて有効であった」とした。

【地方創生推進交付金事業】

事業名	委員からの意見
道の駅を核とした地域活性化プロジェクト	ロケーションもすばらしく、季節ごとの集客が期待できる。
	周辺市町村の祭事などをオムニバス形式でもよいので、映像を流し、街なかに観光客を誘導できればと思う。

	交流人口を呼び込むツールとして、各種施策の実施自体は有効。設備を有効活用するため、継続的な施策実施と、定期・定数アンケート等による効果検証を重ねていく必要がある。
	利用者増と売上増は高評価の対象。ただし、産直が有効かと疑問は残る。補助金を受けて、産直とするのが良いのか。思い切ってスーパーのような運営、利用者増を促すさらなる手法があるのか。
	以前の道の駅と比べて、人が多く入っている（ように見える）。車の駐車場等が以前より見て混み具合がわかるので、活気あるところなら行ってみたい気持ちがでる。
	地域連携を強化してほしい。地場産が少ないことが残念。
	道の駅に出店している人が言うことは、売る物がない時は、出店している場所から買うようにしている。他から仕入れてはならないとのことで、もう少し仕入れに対して緩めてもいいのでは。
	平成30年度の成果・反省を踏まえて、令和元年の取り組みを行っていただきたい。

【主な意見と対応】

意見等	対応
道の駅ふたついはかなり人が多くなってきている。それに伴い、例えば花見シーズンのきみまち阪、あるいは能代市内の中でも効果はでているのか。単に道の駅だけの結果ではなく、それによって地域に何らかのいい効果は出てきているのか。	K P I の③に「市内地域資源の来場者数」とあり、能代市内全体、観光地域資源にどれくらい人がいったかの数であるが、数値は来年度となる。

○地方創生拠点整備交付金事業

出席委員の評価を集計した結果、「有効であった」が4名、「どちらかといえば有効であった」が8名であったことから、戦略会議の検証結果として「K P I の達成に向けて有効であった」とした。

【地方創生拠点整備交付金事業】

事業名	委員からの意見
「木都能代」拠点整備事業	トイレの改修は、女性や若年層にとってはとても好印象を与えると思う。
	今後、施設の内容及び作業している画像など、SNS等を利用して発信することが必要だと思う。
	事業拡大に向けた設備投資は必要。設備の規模や種類、利活用の検証が課題。
	木都能代の拠点としては意味があったと思う。しかし、それがどの程度、数的評価はまだ出ていないので、評価はまだ未確定。
	施設はすばらしい。もっと宣伝いただければ良い。
	今後の周知に期待している。アクセスの悪さをどう対応するのか。
	整備して、木都に利用する人ができたらいいと思う。一般の人々に利用することが良いと思う。
	委員の意見を参考にPRして、利用者を増やして成果を上げてほしい。

【主な意見と対応】

意見等	対応
自宅で、DIYをやるが、木の処分についてネットで検索すると上位にだいたいホームセンターや、木を販売する店が出てくる。木の学校はなかなか検索条件に引っかからないが、周知していく予定はあるのか。	せっかく作った施設なので利用してもらいたいし、当然にそういった周知は拡充していくと思われる。担当課でもその方向で検討を進めていると伺っている。

(3) 第2期能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

【主な意見と対応】

意見等	対応
県も市もそうだが、婚活を一生懸命やっているが、なかなか指標にでてこない。子育て中の方、子育てからひと段落した方が、どうすればこういう環境を打開で	アンケート調査については、第2期総合戦略の策定に着手していく上での客観的な意見として集約するものである。個別の取り組みについては、

<p>きるのか、一番わかっていると思う。アンケートだけでは、対策はできないのではないか。そういう女性の会を作って、意見を集約してみることも有効ではないか。</p>	<p>アンケート結果も踏まえ、戦略に基づく事業を展開していく中で実施していきたいと考えている。</p>
<p>60歳から70歳までの方はサポートのほうになる。子育てで、あなたは何ができますか、というようなこともアンケートに入っていればと思う。高齢者の助けを、若いお母さんたちは必要としている。核家族が多く、ここを何とかサポートできれば、子育てに役立つと思う。</p>	<p>子育て・妊娠・出産は非常に大切な部分であり、各地域で子供の数が減少し、人口も少なくなっている。また、自治会、町内会の活動を維持していくことが大変だとか、役員の成り手がいないだとか、身近なところにも影響がでてきていると思う。そういった部分も広くとらえた設問を組み込むとともに、子育て世代に対する設問も引き続き行う予定である。</p>